

KEY TOPIC

児童相談所虐待対応ダイヤル189番を拡散

児童虐待のない社会へ

CHUCOgroupでは2018年より情報誌を使い、189番の周知を行い地域の児童虐待防止に対する意識を高めています。また11月には街を巻き込んで189番を伝える#にっぽんオレンジシンボル運動や、小学校をはじめとする子どもを対象とした施設の放送を活用し啓発を行うための音源として「189のうた」を作成。さまざまな角度から児童虐待防止を訴えています。

全国展開のハッピーメディア®が児童虐待防止に挑む意味

当社が展開するメディアは各戸配布型のものやターゲット特定型のものまで多岐にわたりブランド展開していますが、これらを総じて「ハッピーメディア®」と呼んでいます。これは、メディアを手にする方、情報を提供くださる方、関わってくださる全ての方がハッピーになれるように、という思いが込められています。

だからこそ、当社ではメディアの発行を通して社会課題や地域課題の解決に尽力しております。

2018年、東京・目黒区で起きた子どもの虐待死。「ババママ おねがいゆるして」と5歳の少女が残した手紙は、虐待死の悲しさだけでなく子育てをめぐる環境について考える時間を日本中に与えました。

この痛ましい事件をきっかけに、中広の岐阜エリアで児童虐待防止運動がスタート。瞬く間に全国の編集室へと広がり、現在では当社が展開する『地域みっちゃく生活情報誌®』ブランドの加盟社にも協力を呼びかけ、その配布網を活用し、「児童虐待防止運動」を展開しています。

関係省庁の後援を得て児童虐待を許さない地域・社会へ

児童虐待という痛ましい課題は、子育てを「孤育て」にしないことが重要だと言われています。過干渉になる必要はありませんが、当社では周囲が「もしかして?」と思ったその時のために、児童相談所虐待対応ダイヤル189番の認知を高めておくことが状況を変えようと考えます。

こども家庭庁の発表によると全国の児童相談所における令和5年度の児童虐待相談対応件数は 225,509件。前年度に比べ1万件以上増加しており、関係機関の児童虐待防止に対する意識や感度が高まった結果、通告が増えたと考えられています。この22万件の「虐待かもしれない」という声に救われた子どもたちが多くいたことでしょう。

昨年度は当社グループの活動趣旨・実績を評価いただき、文部科学省とこども家庭庁から後援を頂くことが出来ました。

その後押しを受け、昨年11月に行った#にっぽんオレンジシンボル運動は日本全国47都道府県より1,105もの賛同が寄せられました。今年はさらなる賛同が得られるよう、オレンジのライトアップ以外でも参加い



2025年CHUCOgroup児童虐待防止運動
#にっぽんオレンジシンボル運動ポスター案

ただけるよう、ルールを改定いたしました。

今年は街の喫茶店で「あれ?なんで今日は暖簾がオレンジになっているの?」といった会話が生まれることを願っています。

クリック!



活動の詳細・お問い合わせ

#にっぽんオレンジシンボル運動 賛同条件

いずれも一般の方が見える場所での実施に加え、本運動のポスター掲示が必須となります。



Point 1日1時間以上連続してオレンジ色にライトアップされている



Point デジタルサイネージで放映時間の合計が1日1時間以上



Point オレンジ色のなにかを掲げる取り組み ※気づきを与えられることがポイント

COLUMN

修養のススメ

日本の元気のために、己を磨く

残暑お見舞い申し上げます

日々の小さな努力が周りの笑顔を生む

今夏は、例年にない不思議な夏だったと思いませんか。梅雨時から猛暑が続き、8月には線状降水帯による被害が頻発するなど、予測不能な天候が続きました。特に、九州・熊本や石川・能登の被災地の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

それでも、季節は巡ります。いかなる艱難辛苦に見舞われようと、己を磨き上げて感謝の心を抱き続ける強い人間にならねばと思います。自分を磨く方法として読書がありますが、今の日本では、6割超が月に1冊も本を読まない状況にあります。日々仕事や育児に追われ、時間のない生活です。必死に生活する日々そのものが人生修養ですから、「本を読もう」と無理に構える必要はありません。

しかし、我々は情報を扱い、地域社会を元気にすることを理念としています。少なくともあなたの子どもや周りの人たちは、あなたが作り出すHAPPY MEDIA®『地域みっちゃく生活情報誌®』を楽しみにしています。そんなあなたが、生きることを今以上に高める努力を惜しまないことが、「自分と自分の周りの人々の幸せ」につながるのではないかと。

『地域みっちゃく生活情報誌®』は今や、暮らしに不可欠な情報を発信する日本最大級のメディアです。目標は5,000万世帯にお届けすること。夢は我々が発行する情報誌を手にした人たちが幸せになることです。そのためには、**作り手である我々が、自らを磨く努力を怠ってはいけません。**読者の心に響き、嬉々としてページをめくりたくなる情報誌をお届けするために、今号は少し古風な言葉ですが、「修養」について考えてみたいと思います。

人を惹きつけるリーダーに共通する4つの特質

想像してみてください。「立派だ」「尊敬できる」「リーダーに相応しい」。そんな風に誰からも言われるのはどんな人でしょうか。歴史を振り返ると、大きな道を成し遂げた人物には共通の特質があります。

第一に「明るさ」です。私が生き方の指針としている「上機嫌たれ」の条件は「笑顔」です。どんな環境下でも明るく振る舞い、上機嫌を崩さない人には必ず人が集まってきます。

第二、「ユーモア」です。古から「笑門来福」と申します。緊張した空気を和まし、人の心を開くのは「笑」です。

第三は「利他の精神」です。自分さえ良ければ。そんな人が真のリーダーと言われることはありません。我々中広グループは「他に善かれかし」を基本にしています。

第四は「自分が主語の人生を生きること」。困難から逃げ、他人事としてしまう人は、リーダーとしては失格です。

とはいえ現実にはなかなか、こうは参りませんね。しかし、こんな人生を歩んでみたくないませんか。私は中広グループの理念「広告業を通じた地域社会への貢献」を実現するには、これら4つの特質を備えた集団でなければならんと思っています。



知を蓄えること

修養の積み重ねが拓く多様化とAI時代の道

社会への貢献を理念とする中広グループには、見過ごせない社会課題があります。総務省の人口統計によれば、日本人の減少は加速し、前年比で初めて90万人を超えました。出生数は70万人を割り込み、やがて年間100万人以上の減少が見込まれています。

また、高齢化の進む地方では、外国人が地域社会の担い手になりつつあります。現在、過去最多の367万人が暮らし、さらなる増加が予想されますが、受け入れる体制は整っていません。国家存亡の危機ともいえる人口問題ですが、国民の関心はあまりにも低く、「いずれ誰かが何とかしてくれる」などと、他人事として捉えがちなのが現状です。では、どうすればよいのか。一人ひとりが自分を主語として考え、できることからやるしか方法はありません。

遠くない未来、人口減によって生じる不便や変化をAIが補い、助けてくれる時代になります。ITやAIと共存するには、情報の真意を見抜き、倫理的に判断する力の修養が不可欠です。AI

は膨大な情報を処理できますが、何を価値ある目的とするかを決めるのは人間の内面の力です。また、文化が異なる外国人と健全に向き合うには、自国文化への理解と誇りを持ちつつ、相手の価値観を受け入れる柔軟さが欠かせません。それには修養がなければ、偏見や衝突を避けられず、せつかくの多様性が不信感の温床になりかねません。人格を磨いた人は、文化の違いを豊かさに変え、技術を人類全体の幸福のために生かせます。修養は少子化による人口減少に耐え抜き、外国人と共存しながら生き抜く唯一の道だと言えます。

人間力を磨くために心に刻みたい4つの習慣

では、修養を積むには何をすればよいのでしょうか。1つは「心を磨くこと」です。社会とは人間の集まりです。人の心を理解するには、己の心を磨く必要があります。

心を磨くには、4つの努力が必要です。日々の言動を振り返り、改善点を探す。困難や不快な状況を逃げずに受け止め、忍耐を鍛える。そのために、損得よりも正しさを優先する習慣を身につける。そして、日常の小さな恵みに感謝する心を養う。これら自省・忍耐・誠実・感謝の4つを意識した生活が、心を磨くことになります。

2つ目は「知を蓄えること」です。良書に触れて、自分と異なる価値観や文化を学び、言葉や行動に反映させる。もちろん、人生において1番大切な学びは実体験によるものですが、読書は経験をもっと意味のあるものにしてくれます。

3つ目は「身を整えること」です。健康を管理するのも修養ですが、それ以上に礼儀や姿勢を正し、身なりを整えることが重要です。

4つ目は「行動を磨くこと」です。約束や時間を守り、決めたことは必ずやる。事務所にごみが落ちていたら、黙って拾うのも修養です。

このように修養とは知識の習得だけでなく、礼儀作法、道徳心、忍耐、思いやりといった人間性全般を磨く営みを指します。先に述べた「リーダーの4特質」も、生まれつきのものではなく、長年の修養によって培われる人間力にほかなりません。

文化が多様化し、AIやITが社会の隅々に入り込む今こそ、一人ひとりが修養を自らに課す時です。明るさとユーモア、利他の精神、困難への挑戦心を胸に、次世代に誇れる「元気な日本」づくりに寄与したいものです。中広グループの未来は、同志一人ひとりが日々いかに修養を積み重ねてかにかかっています。

2025・長月・晴れ渡る高い空・実りの季節を迎え・如水こと二代目・後藤敏次

※情報は2025年8月発行号に基づき掲載しています ※VC発行エリアを含む ※世帯到達率は配布部数を7月1日現在の各県が公表している世帯数で割り算
※一部イレギュラーな発行に伴い9月に流通していないものを含む ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください

年間契約店を中心に12店舗を集め、「え〜マルシェ」を開催しました。当日は約5,000人のお客様にぎわい、イベント中に配信したInstagramは通常の約4倍のビュー数を達成し、大きな反響を呼びました。

誌面掲載から生まれた信頼と広報支援

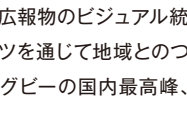
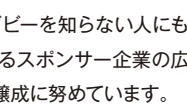
地域みっちゃく生活情報誌

地域の社会人ラグビーの活動を市民に発信

創刊から13周年、157号目を迎えた『ビグレ』では、山梨県を代表する社会人ラグビーチーム「グリーンファイターズ山梨」の活動を2012年から継続して発信しています。毎月のニュース記事掲載は140回を数えます。

2017年からは、公式戦の開幕に合わせて巻頭特集で掲載。チームの進捗状況や意気込み、経緯がわかる年表や集合写真を紹介し、ラグビーを知らない人にも親しみやすい誌面づくりを心掛けています。チームを応援するスポンサー企業の広告も掲載し、地域全体で社会人ラグビーを盛り上げる機運の醸成に努めています。

情報誌掲載以外にも、ポスターやパンフレット制作など、広報物のビジュアル統一にも尽力し、長期的な信頼関係を築いてきました。スポーツを通じて地域とのつながりを深めるという重要な役割を果たすべく、今後もラグビーの国内最高峰、リーグワンを目指す活動に寄り添っていきます。



（ビグレ編集室・小林）

群馬県カスタマーハラスメント防止条例が施行

イベント

STOP！カスハラ対策セミナーを開催

群馬県カスタマーハラスメント防止条例の施行に伴い、周知啓発業務のプロポーザルを受託しました。業務内容はチラシやポスター、小型掲示物、動画の制作、セミナー運営と多岐にわたりました。

なかでもセミナー運営は、県内事業所の管理職以上が対象だったため、参加数の確保が課題に。オンライン参加を可能にしたところ、2日間で約200名に参加いただくほど好評となりました。講師には谷厚志先生、齊木茂人先生をお招きし、具体的な事例から対処法まで学べる場となり、参加者からは「業種別も実施してほしい」などの声が寄せられました。

カスハラ防止条例を導入している自治体は全国的にまだ少ないですが、事業所の関心はとて高く、これから考えなくてはいけない社会問題です。こうした社会問題から事業所独自の課題解決まで、さまざまな方法でご提案させていただきますので、ぜひ当社にご相談ください。



（群馬広域ソリューション・島田）

無料券プレゼント付きのグルメ企画

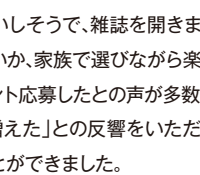
地域みっちゃく生活情報誌

読者のワクワクを引き出す誌面づくり

『GiFUTO』では、「読者が選ぶ、この夏食べたいかき氷3選」企画を実施。掲載店舗にご協力いただき、かき氷の無料券プレゼントも実施しました。

たくさんの読者に参加していただけるよう、表紙にも応募サイトへ誘導するQRコードを掲載。実際に多くの方に読み込んでいただき、「表紙のかき氷があまりにおいしそうで、雑誌を開きました！」「表紙のインパクトがすごい！」「どのかき氷を食べたいか、家族で選びながら楽しみました」など、ワクワクした気持ちで誌面を開き、プレゼント応募したとの声が多数寄せられました。また、店舗からは「掲載した商品の注文が増えた」との反響をいただき、誌面掲載が来店行動につながったと実感していただくことができました。

今後も、読者が『GiFUTO』を見て、実際に体験したいと思える企画・誌面づくりを続けてまいります。



（GiFUTO編集室・江崎）

地域密着の強みで行政と子育て家庭をつなぐ

事業運営

子育て家庭応援キャンペーン業務10年連続受託

このたび、岐阜県が子育て家庭の応援を目的に発行する「ぎふっこカード」業務のプロポーザルを受託しました。

今年度は、定例業務である「ぎふっこカード」協賛店舗の獲得に加え、11月の「秋のこどもまんなか月間」と連携した取り組みを県内全域で実施するなど、事業内容が大幅に拡大。新たな業務は、11月に行われる「ぎふっこ応援キャンペーン」に伴う特設サイトの開設や、キャンペーン参加店舗の獲得、チラシの制作や情報誌での告知、SNS広告などの広報全般、事務局の設置など多岐にわたります。当社アプリ「フリモ」の機能を利用したデジタルスタンプラリーは、岐阜県の事業としては初めて採用され、実施に向けて動き出しています。

本事業を通して、子育て家庭を社会全体で支える機運の醸成を図り、未来を担う子どもたちがこの先も幸せに暮らせる社会づくりの一助となれるよう、取り組んでまいります。



（岐阜広域ソリューション・西部）

CHUCO CLUB

株式会社セトナミとVC2契約を初締結

このたび、株式会社セトナミとVoluntary Chain（ボランティア・チェーン）2の加盟契約を締結しました。同社は香川県東かがわ市・さぬき市で『セトナミ』を発行。本年10月号よりハッピーメディア『地域みっちゃく生活情報誌』としてリニューアル予定です。当社は今年度より、発行周期が月刊以下、設置型の情報誌を対象としたVC2加盟形式を新たにスタート。『セトナミ』はその第1号誌です。

（アライアンス事業部・高橋）



▲株式会社セトナミ 福光智宏代表取締役（左）

笠松町で広報紙づくりのセミナーを実施

当社と笠松町の包括連携事業の一環として、デザイン知識の必要性をテーマとした研修を実施しました。広報紙はつくること自体が目的になってしまいがち。情報やメッセージを伝え、行動を促すという本質を意識する大切さにはじまり、デザイン知識の共有や確認の方法などをお伝えしました。今後も包括連携事業を通じて、笠松町とさまざまな連携をとり、地域に還元していきます。

（BPクリエイティブ部・佐藤）



▲広報紙の魅力向上のため、デザイン知識の基礎を共有

編集室移転・開設のお知らせ

このたび、かしるくらぶ編集室、からっと倶楽部編集室、maika club編集室を下記の通り移転しました。また、新たに富山事務所を開設しましたので、お知らせします。

	編集室	住 所	連絡先
かしるくらぶ	かしるくらぶ編集室	〒634-0006 奈良県橿原市新賀町237番地1 フクダ不動産八木ビル202	TEL 0744-48-0606 FAX 0744-48-0607
からっと	からっと倶楽部編集室	〒519-3616 三重県尾鷲市中村町6番52号 大和ビル 2F A号室	TEL 0597-37-4100 FAX 0597-37-4101
maika club	maika club編集室	〒508-0011 岐阜県中津川市駒場字青木 429番地の3	TEL 0573-62-2522 FAX 0573-65-3101
富山	富山事務所	〒937-0801 富山県魚津市新金屋1丁目12-38 インテリジェントセンタービル 4階D	TEL 0765-57-5120 FAX 0765-57-5121

VCTOPIC

秋田県『月刊エー・クラス』株式会社アクティブイエロー

1年ぶり9度目の「クーポン祭」を実施

「クーポン祭」は夏の外出・帰省シーズンに合わせ、地域の店と読者をつなぐ8月号の恒例企画です。毎月のクーポンコーナーを拡大し、10ページ以上にわたって展開。飲食店やサロン、観光スポットなど、さまざまなクーポンをカテゴリ別にご紹介しています。さらに今回は、店の豆知識や常連に人気の通なメニューも取り上げ、割引情報だけでなく掲載店の魅力をしっかり伝えることを大切にしました。

掲載店からは「新規客が増えた」「常連さんの来店頻度が上がった」など、好評をいただきました。物価高で外食や出費を抑える人が増える今、本企画がお得に楽しめる機会を生み出し、読者の支持を集めるとともに、地域経済の活性化につながったと実感しています。



▲「月刊エー・クラス」8月号誌面

部署だより NO.140

FM事業部

『maika club』編集室



▲『maika club』編集室のスタッフ

岐阜県恵那市・中津川市で44,600部を発行する『maika club』は、10月で創刊20年目を迎えます。この地域は自然に囲まれた環境でありながら、都市部へのアクセスが良く、近年、移住先として人気が高まっています。また、中津川市にはリニア中央新幹線の駅設置が予定されており、新たなまちづくりによる効果が期待されています。一方で、平成の大合併以前から各地域が育んできた独自の行事や伝統が、今も大切に引き継がれている土地でもあります。

私たちは、地元の人でさえ知らない地域の魅力を再発見し、市全体の一体感と活力を生み出すことを目指しています。面積が広く、市内でも物理的に距離のある両市だからこそ、『地域みっちゃく生活情報誌』が果たすべき役割は大きいと考えています。

単なる情報提供に留まらず、手に取るのが楽しみになる娯楽性の高いコンテンツも充実させていきます。そしてこの一冊が、地域全体をつなぐ架け橋となれば幸いです。

（maika club編集室・吉村）

編集後記

1面でご案内した#にっぽんオレンジシンボル運動への賛同をお願いする際の話です。「1,189件の賛同を集めたいと思っています」とお伝えすると、「言うのは簡単だけど、えらい数だね？」という反応をいただきます。

「確かにそうですね、でも中広ってやっちゃう会社なんです」と笑って返すのですが、心の中では「言っちゃった！達成できなかつたらカッコ悪い、どうしよう」と焦りまくり。けれど、口に出したからにはやり切るのみです。

中広グループには「営業会社である」という自負があります。私たちは思いを伝えるプロです。そして、児童虐待を防止したいという思いに賛否は生まれず、きちんと思いが伝われば、皆さん賛同一択だと信じています。うん、できる。

1,189件やり遂げて、社会を明るく照らしていきたいと思います。

（広報・マーケティング 岡本）

HAPPY MEDIA

『ままこっこと®』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
【仕様】 冊子A5版 オールカラー



『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

【配布先】 高校
【仕様】 冊子A4 オールカラー
【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県



「講演会インフォ」

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【対応エリア】 全国
【内容】 講演会・研修会・ウェブセミナー・コンサートの企画運営
【登録講師数】 7,000名
【年間実施件数】 400件以上



クリック!

キーワードや、ご予算ジャンルを絞って講師を検索できます

50万ダウンロード突破

クーポンアプリ「フリモ」

ダウンロードはこちら (iPhone/Android)

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に！切り取らなくてもスワイプで簡単に使える！

対応OS iPhone : iOS16.0以上 Android : 7.0以上
※ダウンロード数 515,767件 (2025年8月25日現在)



クリック!



イベント

『ままここと®』×イベントで生み出す体験の機会
子どもの成長を後押しする場

創刊15年目に突入した『ままここと®』は、小学校就学前の子どもを育てている家族のサポートを目的に発行している情報誌です。そんな同誌では、誌面を飛び出してリアルイベントも開催。毎回、大好評を得ています。誌面づくりに込めた思い、イベント開催の経緯と創意工夫について、同誌を統括する結城奈津美さんに聞きました。

——子育て情報誌『ままここと®』の概要を教えてください

結城／幼稚園、保育園、こども園に配布し、園児のバッグに入れていただくことで各ご家庭にお届けする、季刊の情報誌です。子育て中のご家庭で、家族みんなで読んでもらうことを目的としており、現在、群馬版、岐阜版、みやぎ版、埼玉東版、ちば中部版、ちば北西部版を展開しています。

編集方針は「感動体験」です。毎号、誌面を通して親子が一緒に体験する機会を提案し、経験を通して子どもが成長する様子を見ることで、我が子をもっと愛おしく感じてほしい。もっと子育てを楽しんでほしい。そんな思いを込めて作っています。

また、毎号テーマを設定し、各企画を紐づけるように工夫しています。例えば「未来への備え」というテーマであれば、巻頭特集は子どもと一緒に準備する災害への備え、第二巻頭では、食の観点から暑さに負けない体づくりを伝える熱中症への備え、他には地域の専門家に聞く非認知能力・創造性・主体性を育む教育への備えといった感じで一冊の展開を考えます。私自身の子育て中の悩みであったり、実体験をベースに企画を考えることも多いです。

——多くの読者に親しまれている『ままここと®』ですが、イベントも開催しています。どういう経緯で始めたのでしょうか

結城／リアルイベント「ままこことランド」は、2018年に岐阜版が初めて開催しました。大好評だったということで、私が勤務している群馬県でも2019年に開催しました。紙媒体は情報発信が一方通行ですから、読者とな

がりたいという思い、また、もっと気軽に体験機会を子どもたちと家族に提供したいという思いで開催しました。

会場は大型ショッピングモールで、出展企業には業種のカラーを反映しつつ、子どもが興味を持って楽しめるさまざまな体験を用意いただきました。例えば、木工制作体験、自動車整備士体験、ヘアメイクでモデル体験、ラジオアナウンサー体験などです。各ブースで体験をした子どもにはイベント用通貨を渡すようにして、当社ブースではこの通貨を使って駄菓子のお買い物体験ができるなど、イベント会場を回遊する仕組みも作りました。



雑誌のテーマである感動体験を、そのままリアルイベントで体現したままこことランド、出展企業の工夫を凝らしたブース運営も功を奏し、県内全域から来場した多くの子どもの笑顔があふれました



県域の媒体ですから、当日は県内各地から多くの家族連れが集まってくださり大盛況でした。一方で、混雑しすぎて子どもたちに十分な体験を提供できない、ブースに並ぶ時間が長すぎて子どもたちが飽きてしまう、お母さんやお父さんが疲れ果ててしまうなどの反省点もありました。



中広では群馬版、岐阜版を展開。CMSがみやぎ版、埼玉東版、VCがちば中部版、ちば北西部版を発行しています

——それらを改善したのが2024年に実施したままこことランドですね

結城／翌年も開催する予定だったのですが、新型コロナの影響で2024年まで開催できませんでした。ただ、混雑緩和と、当日ぶらりとお越しになった家族どちらも楽しめるよう、ブースを事前予約制と予約なしの2種類用意するなど、前回の反省を生かした綿密な準備ができました。

それでも、全21ブース中で事前予約制とした10ブース・400席分が、予約受付開始15分で埋まってしまい、キャンセル待ちが当日まで1,300人へのぼるなど、読者の皆さんの期待の高さに嬉しい悲鳴でした。

最終的に、来場者は2,000人を超え、88%の来場者の方に満足いただけました。イベントを行ったショッピングモールの客数は前年同週末比で108%、売り上げも103%となり、地域の賑わいづくりに貢献できたと感じています。

——今年も開催するということですね

結城／11月に2日間開催します。今回は、来場できない事情を持つ子どもたちにも体験機会を提供したいという思いから、収益の一部を児童養護施設に寄付することにした。施設では寄付金を、子どもたちのいちご狩り体験に使ってくださるそうです。

中広グループには『ままここと®』だけでなく、同じ思いを持つ情報誌『まみたん』もあり、同じようにリアルイベントを開催しています。子どもたちや子育てに奮闘する家族を支えたいと考える皆様は、ぜひこの輪に加わっていただければ幸いです。



巻頭特集をはじめ、子育てに寄り添うコンテンツ展開を行う『ままここと®』。非常に高い人気を誇っています

会社概要	商 号	株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード[2139]		
	創 業	1978年		
	資 本 金	4億430万円		
	従 業 員	441名 グループ全体 767名 (2025年8月末現在)		
	事業内容	フリーマガジン事業 プロモーション事業 クロスメディア事業 イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業 (ボランティア・チェーン)		
理 念	広告業を通して「地域社会への貢献」		(地方創生に!)	
社 是	人が命・人が宝・人が財産		(社員が輝く組織に!)	
	機会損失の排除		(モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)	
社 訓	飲水不忘掘井人		(感謝の心で!)	
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ		https://chuco-ms.co.jp	
	株式会社ケイ・クリエイト		http://www.k-create.co.jp	
	株式会社ケイビーエス		http://www.post-kps.co.jp	
	株式会社 関西ばど		https://www.kansaipado.co.jp	
	株式会社まちトピア		https://www.machitopia.com	
	株式会社中広ワークイン		https://chuco-workin.co.jp	

第48期 基本方針		
スローガン	Data Driven Innovation	テーマ 生産性向上

オフィシャル 運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ (WEB)	
	●講演会インフォ ●わくわく生活 (楽天 他)	
公式 アカウント	●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE (情報誌見稿サイト)	リンク集はこちら
	●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク (JLMN)	
加盟団体	●Facebook ●YouTube	QRコード
	●Instagram ●X (旧Twitter)	
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会	QRコード



次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん」認定企業です 2017年取得 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です 2016年取得

■ 本社

岐阜本社

岐阜市東興町27

名古屋本社

名古屋市中村区名駅1-1-1 24F

■ FM事業部

《北海道》

SORA編集室

滝川市東町6-1-11

TEL.0125-74-6169

旭川市東光6条6-4-7

TEL.0166-85-6158

AO編集室

苫小牧市旭町3-7-6

TEL.0144-56-5704

《宮城県》

とみいず!編集室

仙台市泉区泉中央1-33-7 2F

TEL.022-341-4809

なうてい!編集室

名取市手倉田字調訪532-1 1F西

TEL.022-797-8541

ざきぱ〜!編集室

大崎市古川旭5-3-2 2F

TEL.0229-25-8792

《群馬県》

高崎フリモ

前橋フリモ編集室

高崎市新保町139-1 2F

[高崎フリモ]TEL.027-353-8714

[前橋フリモ]TEL.027-353-8711

伊勢崎フリモ

太田フリモ編集室

伊勢崎市茂呂町2-3522-6

TEL.0270-61-6117

桐生多みどりフリモ編集室

桐生市本町6-27-1 3F

TEL.0277-47-7635

《埼玉県》

クッキーズ・とねじん編集室

久喜市久喜中央2-8-23 3F

TEL.0480-38-6881

《富山県》

富山事務所 **NEW**

魚津市新金屋1-12-38 4F

TEL.0765-57-5120

《福井県》

きらめきくらぶ編集室

敦賀市野沖40-277-2 1F

TEL.0770-24-2622

《山梨県》

ParuPi・ビグレ編集室

甲府市上石田4-1-10

TEL.055-221-0682

《岐阜県》

GIFUTO編集室

岐阜市東興町27 4F

TEL.058-247-2512

SARUBOBO編集室

高山市下岡本町2967-2

TEL.0577-34-5579

Wao!Club・mintoup

はしまる編集室

大垣市加賀野4-1-13

[Wao!]TEL.0584-75-1960

[mintoup]TEL.0584-77-4088

[はしまる]TEL.0584-71-6226

GUJOプラス編集室

郡上市八幡町小野9-11

TEL.0575-67-0655

たんとんくらぶ編集室

各務原市那加栄町14-1

TEL.058-380-6066

きららくらぶ編集室

関市山王連1-6-3

TEL.0575-24-4334

かにさんくらぶ編集室

関市今渡字町1595-190

TEL.0574-25-7009

おりべくらぶ編集室

多治見市太平町4-38

TEL.0572-21-2626

らせるくらぶ編集室

土岐市泉西山町1-4 3F

TEL.0572-55-2033

maika club編集室 **修正**

中津川市駒場字青木429-3

TEL.0573-62-2522

《愛知県》

中村フリモ・中川フリモ

港区フリモ編集室

名古屋市中川区柳森町107 2F

TEL.052-355-6111

緑区フリモ編集室

名古屋市長区六田1-150 2F

TEL.052-829-0270

守山フリモ

アサヒセット・ひまわりくらぶ編集室

尾張旭市東本郷4丁目京町3-53 2F

[守山フリモ]TEL.0561-42-5799

[アサヒセット]TEL.0561-42-6981

[ひまわりくらぶ]TEL.0561-42-6971

ゆいまるくらぶ・さんごくらぶ

かなうくらぶ編集室

愛知郡東郷町北山台4-1-6

[ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850

[さんごくらぶ]TEL.0561-42-4885

[かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855

cocolu club・安城フリモ

北知多フリモ編集室

知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1

TEL.0562-85-1077

リブル倶楽部編集室

大山市松本町2-29

TEL.0568-39-6111

岡崎フリモ編集室

岡崎市明大寺町字川端19-13 4 F

TEL.0564-83-7121

西尾フリモ・オレンジクラブ編集室

額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F

TEL.0564-83-7763

《三重県》

ほろんくらぶ編集室

桑名市殿町10

TEL.0594-25-9988

Bellve club編集室

鈴鹿市神戸1-10-10

TEL.059-373-4400

よっかいちai編集室

四日市市鶴の森1-5-16 8F

TEL.059-325-7662

つっぴ〜ず編集室

津市栄町1-840 5F

TEL.0519-213-7666

リー・ガクラブ編集室

名張市鴻之台3番町36-1

TEL.0595-41-0156

ふぁみんぐくらぶ編集室

松阪市東町596 3号棟 1-A

TEL.0598-31-3623

イセクラブ編集室

伊勢市若洲3-6-5 2F

TEL.0596-63-8282

からと倶楽部編集室 **修正**

尾鷲市中村町6-2 2F

TEL.0597-37-4100

ざみとくらぶ編集室

志摩市阿児町薦方2850-126 D号室

TEL.0599-65-7201

《滋賀県》

びんじゃこ倶楽部編集室

長浜市吾司町1161-7 2F

TEL.0749-68-2577

こんぎくらぶ編集室

彦根市長曾根町9-22 1F

TEL.0749-26-0555

オウテイクラブ編集室

近江八幡市桜宮町289 3F

TEL.0748-36-1148

びわこ編集室

[大津北版][草津・守山版]

大津市浜大津2-1-35 6F

TEL.077-521-3911

《奈良県》

かえるくらぶ編集室 **修正**

橿原市新賀町237-1 2F

TEL.0744-48-0606

《和歌山県》

まいなまが・まといん編集室

岩出市高瀬84-2 2F

TEL.0736-67-7630

《鳥取県》

つばさ編集室

鳥取市吉富温泉3-860 2F

TEL.0857-30-6446

くらくらぶ編集室

倉吉市山根540-1 4F

TEL.0858-27-0510

こはくらぶ編集室

米子市西福原2-9-49 2F

TEL.0859-21-5400

《広島県》

はつカラ編集室

廿日市新宮2-1-10 1F

TEL.0829-30-6673

えるびん編集室

福山市西町2丁目 5-5 2F

TEL.084-999-1535

《福岡県》

マイタウン西区版編集室

福岡市早良区西新5-1-30 3F

TEL.092-833-5250

むなふ・おるね編集室

宗像市土伏1-3-34 1F

[むなふ]TEL.0940-72-6101

[おるね]TEL.0940-72-6102

《佐賀県》

月刊TOSSE編集室

鳥栖市東町1-1064-15 1F

TEL.0942-50-9619

■ 東京プロモーション事業部

港区新橋2-16-1 9F

TEL.03-6910-2940

E5部

岐阜市東興町27 4F

TEL.058-248-5611

■ 中部プロモーション事業部

名古屋市中村区名駅1-1-1 24F

TEL.052-671-2139

■ ビジネスプロデュース事業部

ビジネスプロデュース部

岐阜市東興町27 4F

TEL.058-247-2511

関西プロモーション部

大津市浜大津2-1-35 6F

TEL.077-521-3911

九州プロモーション部

北九州市小倉北区塚町1-3-15 4F

TEL.093-383-7581

■ アライアンス事業部

VC部

岐阜市東興町27 4F

TEL.058-247-2511

■ EC統括室

大垣市加賀野4-1-13

TEL.0584-74-0745

■ 管理本部

経理部・総務人事部

岐阜市東興町27 2F

TEL.058-240-4005

[購買流通課]TEL.058-246-0285

■ グループ会社

株式会社 中広ワークイン

本社

仙台市若林区舟丁18-2 3F

TEL.022-225-8010

株式会社 関西ぼど

本社

大阪市西区粉本町1-10-24 5F

TEL.06-6479-3113

株式会社 中広メディアソリューションズ

本社・横浜オフィス

横浜西区みなとみらい3-3-11F

TEL.045-514-1409

株式会社 ケイ・クリエイト

本社

一宮市木曾川町里小牧寺東125

TEL.0586-86-0608

株式会社 ケイビーエス

岩倉市新郷町1-50 2F

TEL.0587-96-8336

株式会社 まちトピア

港区新橋2-16-1 9F

TEL.03-6910-2940